

1. 件名：福島第一原子力発電所 1号機廃棄物処理建屋の水位管理方法に係る面談
2. 日時：令和2年10月9日（金）10時50分～12時15分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、知見主任安全審査官、高松専門職、

横山係長、伊藤係長、市森係員、長崎技術参与、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

木村原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から福島第一原子力発電所 1号機廃棄物処理建屋（Rw/B）の水位管理方法について、資料に基づき説明があった。

- 1号機の建屋滞留水移送装置として、1号機Rw/Bの床ドレンサンプ（B）に水位計及び移送ポンプを設置したことから、今後の1号機Rw/Bの水位管理を以下のとおり実施する。
 - ✓ 1号機Rw/Bの水位監視方法
 - ◇ 1号機Rw/Bから2号機Rw/Bに排水が可能であり、1号機Rw/Bの床面上の残水の水位を排水可能限界レベル（20mm）以下に維持できることから、現状の管理と同様に、2号機Rw/Bの水位計で水位を監視する。
 - ✓ 1号機Rw/B床ドレンサンプ（B）の水位計の扱い
 - ◇ 1号機Rw/B床ドレンサンプ（B）の移送ポンプの起動・停止用の水位計として扱い、サブドレンとの水位差比較用としては扱わない。
なお、上記内容は社内マニュアルに反映する。
- 1号機Rw/Bと2号機Rw/Bとの境界部堰の貫通部分の連通性について、定期的に現場確認をしているが、現在まで連通状況に異常はなく通水機能を維持している。

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認した。

6. その他

資料：1号機滞留水移送設備設置に伴う1号Rw/B建屋水位管理方法について